

令和4年度地域医療介護総合確保基金(医療分)にかかる提案内容及び実施状況

| 提案団体名 | 事業名 | 提案内容 | 実施状況 | 実支出額(円) |
|------------|--------------------------------------|---|---|---------|
| 東灘区 医師会 | 在宅NST推進 事業「東灘区在 宅NST推進研 究会」 | 神戸市東灘地域における「食」に関する諸課題[摂食嚥下機能低下、口腔ケア、低栄養(フレイル・サルコペニア)、栄養ケア]に対して、医療・介護分野の多職種が連携して調査・研究や教育・啓発活動などを推進する。さらに臨床で活かせる体制作り(在宅NST)を進める。 | <p>【主な実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東灘区在宅NST推進会議の開催(多職種による定例会議など25回開催) ・要介護・要支援者への栄養サポートを実践(メンバーが介入した食支援に関する多職種連携の実績:誤嚥性肺炎、筋ジストロフィー、脳梗塞後遺症など9件) ・第63回全日本病院学会で食支援活動と地域一体型NSTへの取り組みについて発表 ・在宅NST講演会「『食べる』を支える多職種連携～耳鼻科医の立場から～」の開催(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハ職など計37人参加) ・多職種への食支援に関する普及啓発研修会の開催(施設職員・介護職、看護師、管理栄養士、ケアマネジャー、OT、PT計35人参加) ・食支援に関する研修動画の配信(2回:計201回視聴) ・「東灘区食支援連携ツール」普及状況、食支援に関する課題などについての調査(多職種146人のアンケート実施) ・「食支援サマリー」を他都市でも使用できるよう改訂 <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食支援の介入により、利用者の食形態のアップ、誤嚥性肺炎の予防、口腔機能管理の維持などの成果が見られた。 ・講演会や研修会を開催することで、在宅で食支援に関する多職種連携の重要性について理解を深めることができた。 ・普及啓発研修会については、食事の基本姿勢や食具の選定、介助方法などすぐに活かせるポイントが多く、職員の意識の変化がみられた。また、施設全体として、嚥下に関する知識の向上、スキルアップにつながった。 ・食支援に関するアンケートでは、クロス集計を行い、職種ごとに食支援の課題が異なることが分かったため、来年度以降の活動に反映していく。 ・食支援サマリーについて、改善後の新サマリーの仮運用(27件)では使いやすくなったとの意見が多数あり、次年度より活用していく。 | 112,956 |
| 北区 医師会 | 在宅における 喀痰吸引等支 援事業 | <p>① 在宅にて医療の支援を必要とする方への対応について、医師、看護師、障害関係者が参加する支援検討会を実施。</p> <p>② 喀痰吸引等第3号研修に向け、受講前研修を実施。研修修了者等を対象に、スキル維持の研修を実施。</p> <p>③ 事業報告書を作成。</p> | <p>【主な実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区内の訪問介護事業所(たんの吸引等登録特定行為事業者(北区内13事業所))に対し実態把握のアンケート調査を実施 ・医師や看護師、福祉関係者が参加する医療支援検討会を開催 ・喀痰吸引資格者向けフォローアップ研修の開催 <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査により、人材不足や育成のための研修が負担になっていることが分かった。 ・医療支援検討会を実施することで、喀痰吸引の現場の状況報告があり、利用者とのコミュニケーションや現場に入るまでの支援体制構築等の課題抽出ができた。 ・フォローアップ研修により、口腔ケアの講義や痰吸引の実技を通じてスキル維持の必要性を認識できた、併せて「たんの吸引等研修」受講前研修のニーズが高いことが認識できた。 | 345,583 |

| | | | | |
|--------------|--|---|---|-----------|
| 神戸市 歯科医師会 | 神戸圏域における各地域との医療連携を含む多職種連携の強化、地域包括システムのための取り組みとしての在宅歯科医療の推進 | <p>①兵庫県歯科衛生士会と協力し、歯科医師、歯科衛生士を居宅派遣し、要介護者の歯科健診・口腔機能診査を行うことにより、訪問歯科診療・口腔ケアにつなげ、口腔内環境と摂食嚥下機能の維持を図り合併症の発生を抑制する。</p> <p>②周術期等の口腔機能管理に係る歯科医療機関研修会等を実施する。また、周術期等の口腔機能管理の患者説明用リーフレットを作成し、周術期等の管理に必要性の市民啓発に努める。</p> | <p>【主な実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅要介護者を含む要介護者を対象とした、歯科医師と歯科衛生士による訪問歯科口腔健診や高齢者口腔機能検査の実施 ・健診結果等に応じた受診勧奨、口腔機能低下症、口腔機能管理に係る指導、情報提供の実施 ・訪問歯科健診事業の案内を作成(各区あんしんすこやかセンター(76ヶ所)・医療介護サポートセンター(10ヶ所)及びケアマネジャー連絡会へ周知すると共に広報紙KOBEへ掲載) <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護予防等の高齢者に訪問歯科口腔健診等を行い、歯科疾患の有無、口腔機能を把握し必要な対象に早期の受診勧奨を行う事で要介護状態の進行を遅らせ、健康寿命の延伸を図った。 ・継続的な口腔ケアを実施する事により主病の治癒の促進を期待するとともに、誤嚥性肺炎の発症を予防した。 | 388,823 |
| 東灘区 歯科医師会 | 在宅療養者の口腔機能管理・栄養管理を有する在宅歯科医療推進事業 | 在宅療養者に対して、口腔機能管理と口腔機能に応じた食支援・栄養指導のできる人材を目的とした研修会を行う。 | <p>【主な実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能低下症やその検査方法についての訪問診療勉強会の開催 ・介護支援専門員の資質向上のための研修会(歯科訪問診療の実際の症例を用いた説明や訪問診療相談窓口の紹介)の開催。 | 631,000 |
| 兵庫区 歯科医師会 | 要介護者に対する訪問歯科診療の普及および摂食嚥下障害、食事介助に向けた研修事業 | 診療時の感染予防、事後の機器滅菌処理等について、歯科医師、機材メーカー技師を指導者に招き研修会を実施する。並行して、区内の介護従事者に対し、マネキンや口腔ケア器材を使用した研修会を実施する。摂食嚥下障害については、内視鏡検査の映像などを使用して説明。 | <p>【主な実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携において、口腔管理の必要性を啓蒙するための歯科啓発資料の作製等。 ・多職種関係者との連携会議の実施。 ・歯科医師向けの訪問介護に関する研修会や多職種向けのWEB研修会の実施。 | - |
| 垂水区 歯科医師会 | 在宅歯科医療を支える体制整備 | <p>①介護従事者口腔ケア研修会の開催</p> <p>②あんしんすこやかセンターとの連携体制の構築</p> <p>③訪問歯科診療のための研修の実施</p> <p>④病院の歯科口腔外科との連携体制の構築</p> <p>⑤訪問歯科診療に必要な機材の整備・拡充</p> <p>⑥入退院患者の口腔機能管理を行うための体制構築</p> | <p>【主な実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3名の口腔外科医(兵庫県立がんセンター、新須磨病院、西神戸医療センター)による学術講演会の実施(各病院の感染症対策についての特色などについて講演)。 ・診療所内において、スタッフや患者に対しての対応を学ぶことを目的に、弁護士によるパワハラ防止法とCS対応についての講演会の実施。 ・口腔ケア啓蒙のため、垂水区内に新聞折込チラシを配布。 | 1,160,090 |